

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区に限り避難指示が解除されました。大川原地区には新しく役場庁舎や公営住宅などができ、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町大川原LIFE編集部 問合せ先：mirai@town.okuma.fukushima.jp

大熊に おはやし の音

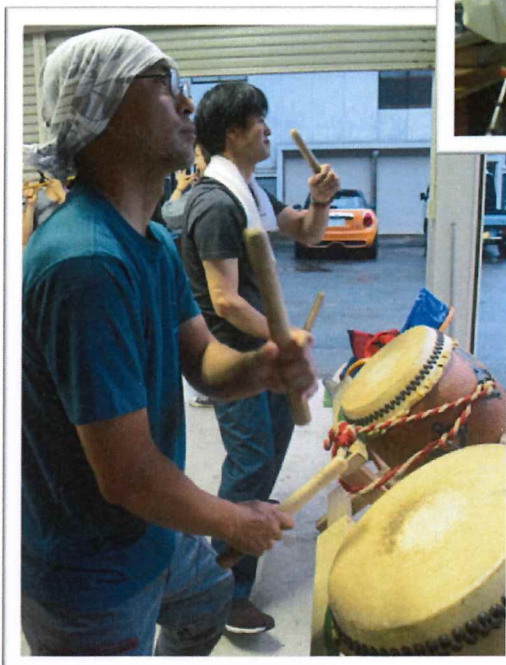
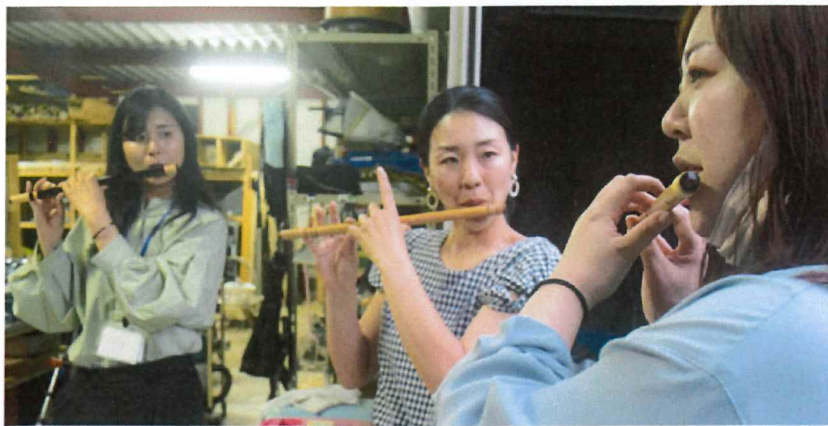


大川原の夕刻。時々、太鼓と笛の音が聞こえてきます。町の住人や仕事などで大熊に関わる人たちが有志で「平馬会」というグループをつくり、盆踊りのおはやしを練習しているのです。

練習場所は、国の登録有形文化財「渡部家住宅」やメジャー方の庭など。会の「平馬」という名前は、渡部家のかつての呼び名に由来します。庭先を借りるお礼に少しですが草むしりをして、その後暗くなるまで、太鼓や笛の練習に励んでいます。

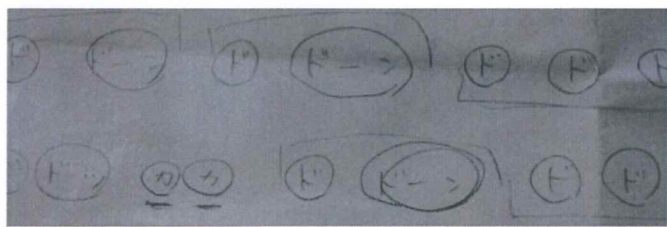
震災前からの町民、震災後の町民、町内で働く人……。大熊でつながった様々な人たちが、一緒に町の文化を紡ぐ。今の「大熊らしいな」と思います。

互いの指使い、息の入れ方...
学ぶ目は真剣そのものです!
自主練習のために、お互いに
スマホで動画を撮り合ったり
もしています♪



震災前は8月13～15日にかけて、町内各地区
で実施されていた盆踊り。今の大川原での
先生役は、その当時を知る先輩町民たちです。
下野上、大川原、大野...など、実は各地区で
少しずつ違ったおはやしを、先輩たちは互いに
面白がりつつ、いいとこどりもしながら、新人たち
に教えてくれます。

私も教えてもらいましたよ♪



楽譜なんてありません!! 耳で聴いて
記した手書きの“楽譜”けなげです!



「盆踊りの日って、昼からおはやし流れてたよ」

「もう終わり! って頃に酔っ払った先輩が太鼓をたたき始めるんだよなー」などなど。

練習の合間の雑談は震災前の町の様子が盛りだくさん。楽しそうだー。



練習の成果は、9月3日に3年ぶりに開催される「たつ祭り ねのおくま」で

披露される予定です!! 「震災前みたいに、いろんな人が入れかわり、たちかわり、

おはやしに参加してくれたらいいな!」とメンバーたち。平馬会は、かて町で

腕をならした先輩方の飛び入りをお待ちしています!!